

バンコク近郊の工業団地大手

タイ・バンコク近郊のチ
ョンブリ県に東京都大田区
の中小企業向け集合工場
「オオタ・テクノパーク(O
TP)」が二十六日、オー
プンした。タイの工業団地
大手アマタ・コーポレーシ
ョンと大田区産業振興協会
が共同で開設。すでに八社
が入居仮契約を結び、第一
号として油圧シリンダーの
南武(東京・大田、野村和



史社長)が入居した。

るアマタナコン工業団地内
にあり敷地面積は約二万平

大田区中小向け 集合工場を開設

方針。第一期工事で完成し
た工場棟は一区画三百二十
平方メートルの小規模工場用地を
八区画備え、賃料は月二十
万円弱。第二期工事で八区
画を追加整備する。開所式
写真には大田区の二十
一社が視察に訪れた。

どの総務サービスを提供す
中小企業の海外進出を支
援したい大田区と、高い技
術力を持つ日本の中小企業
誘致を狙うアマタの思惑が
一致、昨年からの整備を進め
ていた。

同工業団地は五百社強の
アマタは今年、新銀行東

入居企業の約七割が日系。
京や三井住友銀行と相次い

南武も団地内の日系自動車
で情報交換などの協力強化

部品メーカーなどに製品を
で合意。中小を含めた日系

供給。通関や入国管理など
企業誘致に力を入れている。

の手続きが団地内ででき、

アマタが入居企業に会計な
(バンコク市長尾久嗣)